

ALESIS

TRANSACTIVE DRUMMER



クイック・スタート・ガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク



このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。



このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。




このマークは、ご利用の出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。



製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。



1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、 専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください。)
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告:火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

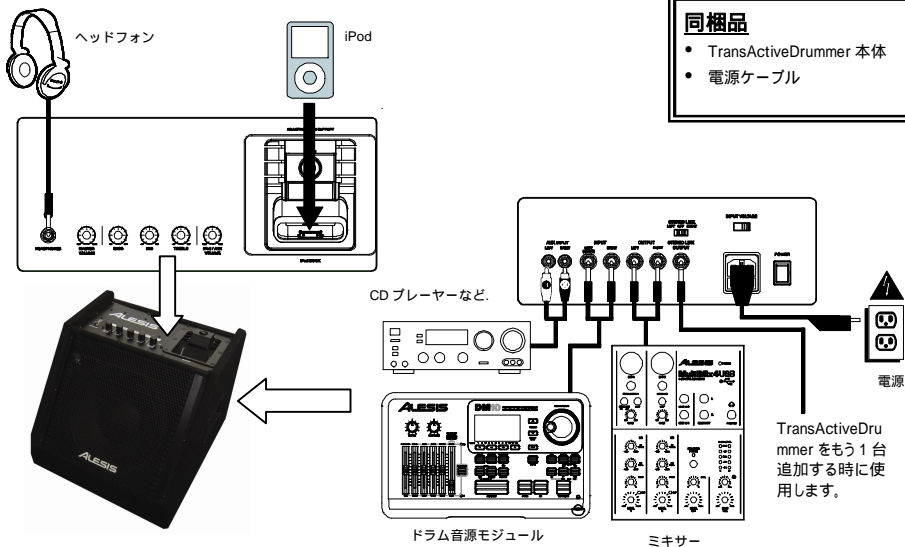
ALESIS <お問い合わせ>

プロ・オーディオ・ジャパン株式会社
カスタマー・サポート部

〒220-0022 神奈川県横浜市西区花咲町 7-150
ウェインズ&イッセイ横浜ビル 5F
TEL: 045 (326) 2046 FAX: 045 (316) 8665



クイック・スタート・ガイド



1. 同梱品が全て入っているか確認しましょう。
2. **製品を使用するために「安全にお使いいただくために」を読みましょう。**
3. 上図の接続方法を把握しましょう。
4. 安全に操作できる場所に設置しましょう。
5. マイク、CD プレーヤー、MP3 プレーヤーなどを接続する時は TransActiveDrummer の電源は入れず、ボリュームは“0”の状態にしましょう。
6. 上図の接続方法を参考に接続しましょう。
7. 以下の順で電源スイッチを入れます。
 - i. オーディオ入力(マイク、楽器、CD プレーヤー、MP3 プレーヤーなど)
 - ii. TransActive Drummer
 - iii. 追加したアンプ・スピーカー
8. 電源スイッチを切るときは入れる時の順の逆になります。
 - i. 追加したアンプ・スピーカー
 - ii. TransActive Drummer
 - iii. オーディオ入力(マイク、楽器、CD プレーヤー、MP3 プレーヤーなど)

適正な音質にするには

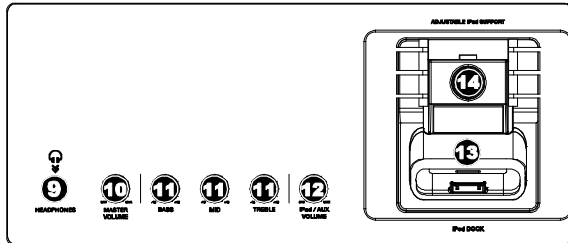
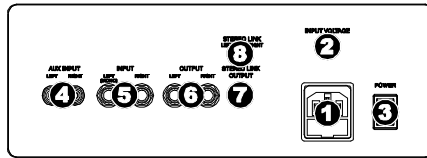
音を上げた時に歪んでいる時は下記の点を参考にしましょう。

- ・ **入力レベルが歪む:** 楽器や音声レベルの入力レベルを下げましょう。
- ・ **出力レベルが歪む:** メイン・ボリュームを下げましょう。
- ・ **低音成分が多い:** 各音声のイコライザーの低音を調整しましょう。

重要: 購入時には 2~3 時間、中位の音量で使用しましょう。これは慣らし運転のようなもので今後、スピーカーを良い音で使用することができます。

各部の名称とその働き

- 電源コード差込口:** 付属品の電源コードを差込みます。
- ボルテージ・セレクター:** 使用する各国の電圧に合わせます。日本仕様の製品は固定しています。
- 電源オン/オフ・スイッチ:** 電源の入切をします。
- AUX インプット:** CD プレーヤーなどを RCA ケーブル(ステレオ)を使用して接続できます。
- ライン入力:** シンセサイザーなどを 1/4" フォーン・ケー、ブル(ステレオ)を使用して接続できます。もしくはマイクを 2 本、モノラル音源を 2 本などでも可能です。
- マスター出力:** ミキサー、PA システムなどに 1/4" フォーン・ケーブルを使用して接続します。音量はマスター・ボリュームで調節します。
- ステレオ・リンク・出力:** 1/4" ステレオ (TRS) ケーブルを使用して他のライン・レベル対応のアンプやもう 1 台の TransActive Drummer に接続します。もう 1 台の TransActive Drummer に接続した場合は合計 100 ワットの出力になります。
- ステレオ・リンク・セレクター:** 2 台の TransActive Drummer をステレオ・リンク・出力で接続している時に使用します。個各スピーカーを“LEFT(左)”もしくは“RIGHT(右)”に設定してステレオ環境を可能にします。“OFF(オフ)”時には左右の音がまとめて出力されます。
- ヘッドホン出力:** 1/4" プラグのヘッドホンを接続できます。
- マスター・ボリューム・コントロール:** マスター出力とヘッドホン出力のボリュームを調節できます。マスター出力には iPod の再生やライン入力の出力が反映されます。
- イコライザー:** TREBLE(高域)、MID(中域)、BASS(低域)の各ノブは音質を調節できます。
- iPod/Aux ボリューム:** このノブは AUX インプットのボリュームを調節できます。
- ドック:** iPod をここに接続できます。
- ドック・アジャスター:** 接続された iPod の傾き調節できます。ドック・コネクタに負荷がかからないように調整しましょう。



技術仕様

出力: 50 W (THD: ≤1%)

周波数特性: 35 Hz – 20 kHz

消費電力: 0.77 A

サイズ (W x D x H): 390 mm x 390 mm x 320 mm

重量: 13.6 kg

プロ・オーディオ・ジャパン株式会社

カスタマー・サポート部
〒220-0022 神奈川県横浜市西区花咲町7-150 ウェインズ&イッセイ横浜ビル 5F
電話: 045-326-2046 FAX: 045-316-8665